

花時計

No.26

川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
Tel.04-7183-0111(代) Fax.04-7183-0115
ホームページ <http://www.kgwu.ac.jp/>



感謝の心

副学長 岡村 豊



YUTAKA OKAMURA

川村学園の創立の理念の中心をなすものは、感謝の心である。

創立者は、「感謝の心は最も奥深く、美しく、気高く、尊い心」であるとし、「感謝と愛は表裏一体の心の作用」とも表現している。つまり、自分が全自然や無数の人々とのつながりのなかで初めて存在しているという自覚と、そこから発する自然と人間に対する限りない愛を「感謝の心」として捉えていると解されている。

私自身は私なりに、これを人間の傲慢に対する警告と受け止め、自身の認識と行動に対して常に謙虚であれと戒める声と考えている。

大学の教員が自分の学識や成果に誇りと自信を持つのは当然のことであるが、それは根拠の無いものであってはならないのである。すなわち、自然科学であれば追試その他の科学的な検証に耐えるものであること、それ以外においては人間や社会を相当の客観性をもつて的確に説明できるものであることが、その正当性を主張できる唯一の根拠である。自分の学識の素晴らしさを認めるよう、学生に強制しても何もならない。

大学の存在理由は教育にある。研究も、学生に

対して、より正確でより明晰な認識を伝えたいというところから縁って来たるものである。そうでないと言うのであれば、そうした大学は研究所や博物館に鞍替えするべきであろう。本学は、面倒見の良い大学を目指しているが、段取りが良く、明晰で分かり易い授業がその基盤になくはならない。

教育においてさえも、合理性を欠いた無駄な努力を学生にさせることは許されるものではないが、教育を離れた場面では、学生を教員と対等な一人の市民として遇すべきであり、教員が学生に対して持っているかもしれない優越的な立場や影響力を厳重に封印しなければならない。自由と平等の精神に慣れていない日本の社会においては、学生の側に抵抗力が十分にはついていないため、こうしたけじめが蔑ろにされる強い傾向がある。李下に冠を正さず、爪田に靴を納れない品性が、大学の教員に対して厳しく問われるところである。

私も不完全な人間であるから、このことについては忸怩たるものがあるが、人事を尽くして天命を待つという心境で、ベストを尽くしていきたい。

新しい顔

新 任 教 員



福永 淑子 生活文化学科 教授

仕事柄、食べ物が大好きです。安全・安心な食材と魅力ある地域の郷土食材を生かした地域活性化に力を注いでいます。「地球に優しい食べ方を考えよう」をテーマとして頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



近藤 千草 幼児教育学科 講師

保育原理、保育の方法、保育内容の環境や健康等、保育の基礎となる科目を中心に担当致します。授業の中ではお互いに意見交換をしたり、様々な活動を行いながら楽しく学習を進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



川原 正人 心理学科 助教

臨床心理学を専門としています。前任校では大学院の実習指導と付属相談機関での相談業務をしていました。本学の大学院は今年度より（財）日本臨床心理士資格認定協会から第1種指定大学院として認定されました。私の経験が少しでもお役に立てればと思います。心理学や心理臨床の面白さ、難しさを学生に伝えるとともに、学生と一緒に私も成長していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

新 任 職 員

浮田 郁恵
修学支援室
(児童教育学科教務補助)

平成21年度役職紹介

副学長	岡村 豊	幼児教育学科長	渡邊 光洋
文学部長	山本由美子	児童教育学科長	坂口 早苗
教育学部長	浅井 義弘	社会教育学科長	二上 政夫
人間文化学部長	熊谷 園子	情報コミュニケーション学科長	原田 耕平
人文科学研究科長	梅村 恵子	日本文化学科長	倉澤 正昭
図書館長	西村 和子	観光文化学科長	豊川 洋
国際英語学科長	田中 淑子	生活文化学科長	永吉 道子
史学科長	金尾 健美	生活文化学科長補佐	坂口 武洋
心理学科長	松井 洋		※色文字は新任

異 動 教 員

浅井 義弘(教授) 心→幼
熊谷 園子(教授) 国→日
渡邊 光洋(教授) 児→幼
湯浅 弘(教授) 史→日
西村 和子(教授) 情→幼
斎藤 幸子(教授) 国→日
渡邊三喜雄(講師) 幼→児
浅井 丈三(助教) 幼→児

教 員 の 退 職

日本文化学科
川端 香男里(教授)
生活文化学科
北村 浩一郎(教授)
幼児教育学科
栗原 泰子(教授)
日本文化学科
野村 文子(教授)
国際英語学科
鈴木 賢司(教授)
情報コミュニケーション学科
磯野 秀明(教授)
生活文化学科
横川 幸義(教授)
史学科
金澤 周作(准教授)
幼児教育学科
野尻 裕子(准教授)
幼児教育学科
藤野 好美(准教授)
心理学科
川嶋 健太郎(助手)

教 員 免 許 状 更 新 講 習 を 開 設 し ま す

教員免許法に基づく更新講習を文部科学省の認定を受けて8月に開設します。幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭を対象とし、定員150名を受け入れ、更新に必要な時間数として必修内容「教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項」12時間、選択内容「教科指導、生徒指導その他の教育の充実に関する事項」18時間を開設します。尚、選択内容については本学の特色を活かした内容の6時間講座を10種類開設し、受講者が3種類を選択すれば要件を満たせます。「学校種共通の包括的テーマ」3種類、「学校種ごとに対象を分けたテーマ」2種類、「教

科ごとに対象を分けたテーマ」5種類を置きます。くわしくはホームページを御覧下さい。

平成21年度に受講対象となる方は

修了確認期限が平成23年3月31日である現職教諭の方
生年月日
昭和30年4月2日～昭和31年4月1日
昭和40年4月2日～昭和41年4月1日
昭和50年4月2日～昭和51年4月1日

修了認定について

「教育の最新事情12時間」と「選択講習6時間×3種類＝18時間」を受講して、かつそれぞれについての試験を全て合格

すると、更新講習修了が認定されます。

免許をお持ちのみなさん、更新制度について知りたいこと等がありましたらどうぞ相談ください。

川村学園女子大学
学生支援オフィス
教員免許状更新講習係まで
TEL 04-7183-9918

SAセンターについて

学生たちの主体的な語らいの場・交流の場を提供し、実践的参加意欲・実行意識・精神的推進力とともにコミュニケーション能力を育むことで社会人に通用する基礎力をつける場として、「SAセンター」を設けました。

活動内容としては、日常的なプチイベント関係の企画、各種レクリエーションの企画、学生生活に役立つ講座の企画などです。興味のある方は、ぜひSAセンターに来てください。



卒業生へ
みなさんへ

ホームカミングディを開催いたします。ご家族お揃いでお越し下さい。

と き 10月17日(土) 鶴雅祭初日13:00より
ところ 本学 我孫子キャンパス

詳細については本学ホームページをご覧ください。

15号館染色工房について

幼児教育学科 准教授 葉山 登



15号館染色工房が新設されました。この工房を拠点に染色クラブ(仮名)が発足します。場所は、紫煙が揺れる空間の東、2号館と3号館の間です。室内はシンプルに設計されており、ガステーブル・流し台・作業台などが設置されています。

染色クラブでは、身近な植物で絹布や毛糸を染める活動を予定しています。本学のキャンパスは、動物性繊維を鮮やかに染め上げる

染材の宝庫だといふことができます。みなさんは、どんな植物で染められると思いますか。この春を彩ったソメイヨシノ・八重桜・オオムラサキツツジはもちろんのこと、駐車場の土手に生えるタンポポ・カラスノエンドウ・ハルジオン・ヨモギ・コブナグサなど、ほとんどすべての植物で染めることができます。

この染めの活動の魅力はどこにあるのでしょうか。私は、豊かな色彩体験ができるばかりではなく、私たちの存在を明るくものとして実感させてくれるところにあると考えています。というのは、この染めが身近な存在に目を向けて、それに働きかけ、生かす活動だからであり、自らの身体性や五感を発揮し、季節の変化を実感できる活動だからです。つまり、自他の存在を照らして認める活動であり、さらに自らも変化しうる存在であると実感できる活動だからです。

15号館染色工房が、このような明るさを発信する場として活用されることを、こころから願っています。

B O O K S

西川 誠 他編著(史学科 教授)

『皇室事典』

●2009年4月発行
●定価5,985円(税込) 角川学芸出版

今関敏子 編著
(日本文化学科 教授)

『涙の文化学
—人はなぜ泣くのか—』

●2009年2月25日発行
●定価3,780円(税込) 青簡舎



永嶋久美子 他共著(生活文化学科 准教授)

『Nブックス実験シリーズ 調理科学実験』

●2009年4月20日発行
●定価1,995円(税込) 建帛社

上橋菜穂子(児童教育学科 教授)

『神の守り人』〈来訪編〉〈帰還編〉

『バルサの食卓—上橋菜穂子〈食〉の世界—』(仮題) 新潮文庫

『獣の奏者』Ⅰ〈閼蛇編〉・Ⅱ〈王獣編〉 講談社文庫

『獣の奏者』Ⅲ〈探索編〉・Ⅳ〈完結編〉 講談社(書籍版)

●2009年8月発行予定 ●価格未定

柚木理子 他共著(生活文化学科 准教授)

『ドイツ近現代ジェンダー史入門』

●2009年2月26日発行
●定価3,675円(税込) 青木書店

高橋裕子 他共著(生活文化学科 講師)

『巧みの技 極みの煌めき

伝統手芸 巧技ソサエティー10年の歩み』

●2009年4月26日発行
●定価3,000円(税込) 巧技ソサエティー事務局



上橋菜穂子(児童教育学科 教授)

8/15(土) 放送予定

NHK-BS『週刊ブックレビュー』〈特集コーナー〉

テ レ ビ 出 演

オリエンテーションレポート

国際英語学科

英語ガイドによる都内バスツアーを行いました。明治神宮、国会議事堂、皇居、浅草では浅草寺と仲見世を見学。英語のおみくじを引くと"small fortune"、つまり「小吉」。満開の桜を眺め春爛漫の東京を堪能。昼食は銀座の「クルーズクルーズ」でバイキングを楽しみました。



幼児教育学科

桜がキレイに舞う頃、私たちはアンデルセン公園に行きました。慣れない大学生活は不安でいっぱいでした。けれどキャンドル作りをしたり、お昼ごはんと一緒に食べたり、アスレチックで遊んだり、このようなオリエンテーションを通して新しい友達や先輩とのふれあいがありとてもよい経験・機会となりました。これからもこの仲間達と頑張りたいと思います。



日本文化学科

快晴の一日、バスで千葉県佐倉市の歴史民俗博物館へ。目玉は、最近富山で発見された「浮世絵の版木」特別展です。これを担当し、当日解説してくれた学芸員が、本学科の卒業生だったのは喜ばしいことでした。見学後、フランス料理を頂きながら親睦を深め、帰途、順天堂記念館に寄って、蘭学の歴史を学びました。充実した一日でした。



史学科

史学科のオリエンテーションは2回ありました。1回目は4月7日、バスで川村美術館に行き、西洋絵画の流れと現代美術に触れました。ホテルで食事のあと庭で自己紹介、日射しと同級生の視線が熱かったです。2回目は5月9日に上野の西洋美術館を見学しました。昼食会では1カ月たって友達もでき、楽しく過ごしました。



児童教育学科

はじめての江戸東京博物館見学では、まず再現された日本橋が江戸情緒を盛り上げます。そこでは番町皿屋敷のカラクリや鹿鳴館のにぎわいの再現などを楽しむことができました。昼には両国のホテル最上階のレストラン「さくら」に到着、その美味しい料理を味わいました。次に浅草に移動し、桜の花の散る中を雷門から浅草寺へと歩き、仲見世見学をしました。江戸東京の文化を堪能した一日でした。



観光文化学科

地元我孫子とその周辺を知り、我孫子観光について考えるフィールドワークを行いました。「相島芸術文化村」を訪れ、江戸末期の住宅や土蔵などを見学し、貝合わせの絵付けと貝合わせ遊びの体験をし、ボランティアの方が作られた昼食をいただきました。その後「今井の桜」(白井市)を見て、小川沿いの満開の桜並木の下を散策し、最後に手賀沼の南側にある「道の駅しょうなん」に立ち寄りしました。我孫子周辺にも多くの観光スポットがあることを実感することができました。



心理学科

心理学科のオリエンテーションは、例年通り日帰り茨城県笠間市の笠間芸術の森公園で行われました。公園内を散策したり陶芸製作を体験しながら、交流を深めることができました。これから4年間の大学生活が楽しく有意義なものになることを期待したいと思います。



社会教育学科

社会教育学科では、地元我孫子の社会教育施設を巡りました。午前は、生涯学習センター「アビスタ」で、センターの役割についてお話を伺った後、図書館を見学。その後、遊覧船に乗り、春爛漫の手賀沼を周遊しました。午後は「水の館」で手賀沼浄化に関するお話を伺った後「鳥の博物館」も訪れ、湖畔で見かける様々な鳥の展示を楽しみました。大学近隣の施設を見学した上に、我孫子の自然も満喫できた充実した一日となりました。



生活文化学科

4月に2回オリエンテーションを実施しました。2日に親睦会として昼食会、7日は「江戸庶民の文化に触れる」をテーマに築地魚河岸と江戸東京博物館の見学を行いました。350年間現役で活躍する築地市場と江戸東京博物館での江戸時代へのタイムスリップの体験が、講義への興味第一歩に生ることを願う桜満開の日でした。



キャンパスだより

流山市の通学合宿「めだかの学校」との関わり

社会教育学科 教授 斎藤 哲郎

千葉県流山市が、平成16年度に通学合宿「めだかの学校」を始めて満5年が経った。この事業は、小学生約20名が3泊4日の宿泊生活を行い、子どもたちの自立心や協調性の育成、市民ボランティアや学生たちとの異年齢の交流を通して、地域の一員としての自覚や自信を持って欲しいと計画されたものである。子どもたちの相談相手やお世話役としてこれまで述べ30名の学生が協力し、平成20年度は社会教育学科の遠藤梨恵さん、東千香子さん、田沼絵梨子さんが参加している。

子どもたちは親から離れての生活となり、食材を買ってきて、料理して食べた後の片付け、入浴や一緒に寝ることなどの全てを自分たちで行わなければならない。集団生活に戸惑ったり、ケンカが始まったりと慣れるまでが大変な子どもたちではあるが、短期間の合宿であるにもかかわらず最終日の涙の別れは感動的である。

流山市の担当者からは、①学生さんたちは、事業の目的をよく理解し子どもの事を第一番に考えて助言してくれている、②深夜遅くまで学生同士で話し合うなど、納得のいくまで適切な方法を模索し、③決して逃げることなく真剣に取り組んでいる姿には感動する、などのコメントが感謝の気持ちとともに寄せられている。

楽しそうに合宿の報告をする学生たちに接すると、毎年ながらこの事業の持つ意味の大きさを改めて感じるのである。



留学生インタビュー「台湾とはちがう日本！」

中山医学大学 応用外国語学科4年生 張 文音さん

Q 日本は初めてですか？

—— いえ、二度観光旅行をしました。留学とは全然、重さが違いますね。留学はいい経験、ほかの人にもぜひ勧めたいと思います。

Q 楽しいこと・困ることは？

—— 台湾では日本のテレビを見たり音楽を聴くのが好きでした。台湾で聞こえなかった日本のラジオ（FM）を、いま聞けるのがとても嬉しい。まだ日本人の友人はそれほどいませんが、日本語を話す機会が台湾より多いのが楽しいですね。寮の生活にはだいぶ慣れましたが、学校までの交通が不便かな。日本の生活を初めて体験したということは新鮮ですが、食べ物にしても買い物にしても台湾とはいろいろな面で違うので大変です。材料がそろわないので、この頃台湾の味がなつかしいです（笑）。

Q 川村学園女子大学の印象は？

—— 男子学生がいないので、あまり気を使わないですみます（笑）。学生がハイヒールを履いているのでびっくりしました。台湾の学生は服装も質素、靴はスニーカーで、日本の高校生のような感じかな。学校は大きくてきれいですね。授業はとても面白いです。日本語で聞けるからというのもありますが、先生のお話や友達の反応から、日本人の考え方がわかる、という点で。いま急には思いつきませんが台湾と違うところはたくさんあります。

Q 日本人の学生は授業中おとなしいと思いませんか？

—— いえ、とても活発。授業中にしゃべってる……ちいさな声で。

Q え？ それは感心できませんが（笑）……。普段は何をしていますか？

—— ほとんど寮でインターネット。でもゴールデンウィークには上野に行って博物館や動物園をひとりで見てきました。

Q ひとりでマイペースに行動するほう？

—— はい、行きたい所があれば。遠いところは、誰か一緒にいいですね。東北とか、日本で行ってみたいところはいろいろありますが、なかなかチャンスがありません。

Q 卒業後はどうなさいますか？

—— やっぱり就職かな。公務員試験を受けるつもりです。

（2009年5月18日）



学園祭 《鶴雅祭》に についてのお知らせ

今年は10月17日（土）と18日（日）の両日に開催を予定しています。

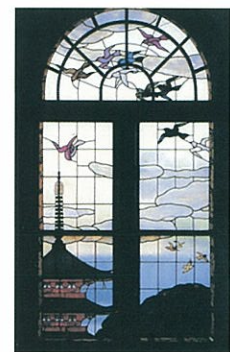
是非、より多くの皆様方にご来場いただきたくご案内いたします。卒業生や同窓会の方も奮ってご参加ください。お待ちしております。



目白・音羽周辺の美術館・資料館と史跡

児童教育学科 教授 荻原 延元

「目白」の地名の由来は江戸を守護する目白不動尊によるもので、一方の「音羽」は文京区に属し、それは江戸幕府の奥女中音羽の拝領屋敷があったからだとされています。この目白・音羽周辺には江戸時代からの寺院や大名屋敷など史跡が数多くあり、また明治、大正期の創立を誇る学校が幾つもある文教地区ともいえます。それではゆっくりと見所をご案内します。まず本校前より目白通りを東に進むと千登世橋に出ます。橋上からその下を見ると時折、都内唯一の都電荒川線が通り抜けて行きます。もし電車が坂をあがって来たら、この近くにある鬼子母神駅に向かっていくところ。その寺の境内には特別天然記念物で樹齢六百年の大きな銀杏の樹があり晩秋の彩りは圧巻です。さて千登世橋から目白通りをもう少し歩くと二股の交差点。左に曲がれば不忍通りとなりますが、さらに目白通りを道なりに進むと、この辺りは目白台とよばれ、日本女子大などがあって、少しわき道に入ればいかにも戦前からの東京山の手の風情を今も見ることが出来ます。やがて東京カテドラル聖マリア教会が近づいてきます。この建築は丹下建三設計で東京オリンピック



音羽の鳩山会館のステンドグラス

のつり屋根の代々木体育館と同じ時期に竣工され、当時その斬新な建築デザインは世界中に知られました。そして荘厳な音を響かせる大パイプオルガンも有名です。この教会の真向いには椿山荘があり日本庭園が美しく、緑の中に移

築された室町期の三重塔を目にします。隣地は講談社野間美術館があり、近代日本画を中心とする企画展が催されています。またその隣には肥後大名・細川家伝来の貴重な古文書、茶道具、能装束、近代絵画などが公開展示されている「永青文庫」があります。私は日本画家・菱田春草の名作「黒き猫」を心ゆくまで観てみたいと願っています。細川家向かいの野間家が所有する本格的な日本建築の御屋敷です。「蕉雨園」の名で知られいくつもの茶室があり茶会が行われます。まるでこの辺りは北鎌倉の様な風情で、この屋敷の土堀の先には胸突き坂の名をもつ驚くばかりの急な坂があり、ここを下りれば神田川に出

ます。この坂下の右には夫婦銀杏と水神社、日本庭園である新江戸川公園、左には関口芭蕉庵があります。なんと松尾芭蕉はこの地区での神田上水改修工事を任せられた津藩の藤堂家の命により3～4年間ほどを水番屋に住み、工事責任者の役を務めたそうです。芭蕉の33回忌には弟子らがここに庵を結びましたが、後に焼失してしまい現在は戦後に建てられたもので、庭には句碑もあって俳聖を偲べます。なお春になるとこの神田川沿いは花見の名所として知られ、見事に咲き誇る染井吉野をいくつも架かる橋から眺める人々に賑わいます。

さて、川沿いの道を下流に歩くと地下鉄有楽



町線駅のある江戸川橋交差点に出ます。ここから左の方向には直線の大通りがあります。この道沿いに音羽御殿と呼ぶ鳩山家所有の西洋館への入口があります。その丘の上には見事なバラ園もあり、誰でも見学出来ますので一度お勧めします。最後は音羽の護国寺です。将軍綱吉の生母桂昌院の発願で護国寺に大伽藍を寄進したのがおよそ330年前。綱吉は幾度も母の参詣につきあいますが、将軍の御成り道として御供1000人の行列に見合う様に幅広い直線の道をわざわざ造成します。今も護国寺には江戸期の大本堂・不老門・仁王門があり、その仁王門前から800mほどの御成り道がいつしか音羽通りと名付けられました。

●演劇部 えすばわ〜るど

2007年11月10日（土）、11日（日）に中央学院の学園祭、我孫子祭で行われた模擬裁判に参加させていただきました。

準備期間が1か月しかなかったため、練習も3回程度しかできませんでしたが、当日は大勢のお客様が入場下さり、楽しい雰囲気の中、裁判員制度がどのようなものか理解していただけたと思います。

●美術部

サークルなどの学生活動の活性化を目的とした「SAセンター」の設立にあたり、その記念すべき第一回目の催しとして私たち美術部で展覧会を開催させていただきました。

当初は4月21日から4月24日までの予定でしたが、皆様の温かいご支援のもと期間を延長し4月28日までの展示となりました。

準備から片付けまで多くの先生がたをはじめ、学生課・教務課の皆様にご協力いただきこのような展覧会を開催できたことを心から感謝しております。

また、展覧会にお越しいただいた方のメッセージで「またこのような機会があれば是非見たいです。皆さん大変だとは思いますが、がんばってください。」というお言葉をいただくことができ、嬉しさで胸がいっぱいになりました。他にも何人もの方々に「次も楽しみにしているよ。」と声をかけていただき、開催して本当によかったという思いです。

次回も部員一丸となって良い展覧会にしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今回の展覧会に携わってくださった先生方、職員の皆様、そして展覧会にお越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。（美術部部长 神田莉沙）



卒業生は今

●●● MAILBOX

川田 友己江

国際英語学科 2008年卒



私は、沖縄本島よりもさらに南の石垣島にあるANAインターコンチネンタル石垣リゾートで働いています。私のセクションはフロントオフィスで、主にチェックインやチェックアウト、その他お客様の総合的なご案内を承っています。フロントではお客さまに快適に過ごしていただけるよう24時間体制で勤務しています。夜勤はハードですがやりがいがあります。今年の4月に、石垣全日空ホテル&リゾートからインターコンチへとホテルのリブランドがあり、その大イベントに参加できたことはとてもよい経験になりました。お客様が私どものホテルを利用してよかったと思っていただけるよう頑張っています。

青木 絢子

心理学科 2004年卒



私は2005年度に人文科学研究科心理学専攻修士課程を修了し、現在、日本大学医学部附属板橋病院心療内科と吉祥寺通り花岡クリニックに臨床心理士として勤務しております。主な仕事は、心理面接、心理査定です。様々な人と関わる中で勉強不足を痛感しておりますが、親身に

指揮して下さる医師、心理の先輩、スタッフに支えられ、楽しくて充実した毎日を送っております。その中で感じることは、川村学園での生活を通して素晴らしい先生方や仲間に出会えたこと。また、現在も指導を受けるために母校に通っていることが私の基礎になっているということです。これからも、支えて下さる方々に感謝し、日々成長していけたらと思っております。

叶野 友香里

幼児教育学科 2009年卒



幼稚園の担任の先生に憧れ、小さい頃から幼稚園の先生になりたいと思っていました。大学では講義のほかに実技の授業も充実しています。社会人になってからは、作りたいと思ってなかなかできません。学生のうちにたくさんのレパートリーを増やしておくいいと思います。授業でやった手遊びやピアノ、パネルシアターは特に今の仕事に役に立っています。

今は、幼稚園教諭1年目で、まだまだ学ぶことがたくさんあります。大学で学んだ事を生かしながら、子どもたちとたくさん遊び、色々な発見をしていき、日々成長していきたいと思います。

子供を預かるという責任のある仕事ではあ

りますが、子供の成長を肌で感じる事ができ、とてもやりがいのある仕事です！

間中 沙織

日本文化学科 2007年卒



現在、私は国内唯一の建築防水に関する雑誌・新聞を取り扱っている出版社に勤務しております。卒業後すぐに転職し、初めの1年は編集アシスタントとして全部署の仕事に携わり、昨年より新聞のレイアウト・校正・発行スケジュール管理などを任せられ、自分の仕事に責任を感じております。校正ミスなどをして、自分には向いていないのではないかと悩むこともありましたが、今は読者に新聞を見せる読ませることに面白さを感じるようになってきました。仕事で文字を扱う中で、大学時代に習ったことが活かされており、無駄なものはないと実感しています。まだまだ未熟ですが、これからも日々努力していきたいと思っております。

小林 希美

生活文化学科 2009年卒



私は卒業してから、地元、新潟県にUターンし、病院の栄養士として働いています。今は主に、厨房内での調理作業を行っています。地元ならではの方言が飛び交う中、地元の食材を使った、おいしい食事を作っています。学校で学んだ事を基礎とし、地元の地域性を理解した栄養士になるために、日々学んでいます。病院で生き生きと働いている先輩方の姿を参考に、自分が今できることを精一杯がんばります。やればできることを諦めずに、毎日前進していきたいと思っております。

“裏カシMAPづくり”が、私の原動力に！

万歳夏恵 平成21年3月社会教育学科卒業

柏生まれの私は、高校時代から古着屋さんに興味を持ち自分用の古着屋さんMAP作りをしていました。大学3年の終わり頃、同様な活動をしているNPO団体の存在を知り、“参加させて欲しい”とダメもとで足を運びました。一緒になって柏市内の話題スポットなどの情報を提供しようと始めたのが「裏カシMAPづくり」でした。

お店を1件1件訪ね自分の名刺を渡してMAP作りへの協力を求めるのですが、営業の人と勘違いされたり、嫌な顔をされたり、真夏の暑さも加わって調査は大変でした。最後はほとんどのお店が快く協力して下さり、大学の友だちや地元の人たちの支援もあって少しずつ軌道に乗っていきました。

MAPづくりでは、楽しいことも辛く苦しいこともありました。しかしながら、

思ったら行動してみること、地域の活動は本物に触れることができること、そして多くの友だちを得ることができ活動が楽しいこと、まちづくりは人づくりであること、などを学びました。柏というまちの良さを再発見することができましたし、一生付き合える多くの友だちを得ることもできました。これからも積極的に活動が続けていきたいと思っています。学生時代の活動が、これほど楽しく有意義になるとは思ってもいませんでした。間違いなく今の私の原動力となっています。

「千葉日報」(平成21年3月10日)に万歳さんたちの記事掲載

「ウラ柏」の情報満載
おもしろマップ第8弾
古着屋や飲食店など122店

KIC、14日から配付

完成したおもしろマップ「裏カシMAP」を手にする制作グループ「かしわ小町」のメンバー

史学科・社会教育学科・情報コミュニケーション学科・観光文化学科の4学科の卒業生からのたよりは次号に掲載いたします。

編集後記

- 正門脇の花時計は四季折々の花を咲かせています。今はサルビアがきれいです。編集一年生、よろしくお願いします。(M.T.)
- 初めて編集に参加しました。様々な声をきくことができた気がします。(J.M.)
- 目白周辺を歩いてつくづく東京山の手の良さを感じ入りました。(N.O.)
- 「風薫る」とはいえ、学内は忙しい五月の編集作業。原稿集めにご協力下さった方々に感謝！(T.I.)
- GW前に原稿依頼を受けて頂きましたので、GWを気持ちに余裕を持って過ごすことができました。(M.H.)

発行日/平成21年7月10日第26号発行
制作/川村学園女子大学広報委員会